

農山漁村地域整備計画

計画の名称 ふくしま森林整備計画
計画策定主体 福島県
対象市町村 いわき市、喜多方市、二本松市、南会津町、北塩原村、西会津町、会津美里町、塙町、下郷町、檜枝岐村、西郷村、川内村 計 12市町村
計画の期間 令和7年度～令和11年度(5年間)
計画の目標 森林は、国土の保全、水源かん養、自然環境の保全や二酸化炭素吸収源などの多面的な機能を有しており、継続的な整備を要する。当県においては、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質拡散以後、森林整備が停滞する一方、放射性物質の拡散抑制に関する対策や知見の集積が進んでおり、森林林業の再生に向けた取組を進めている。 このため、林道等生産基盤整備により森林整備を促進し、森林の多面的機能の維持増進を図る。
定量的指標 (森林整備事業) 民有林内林道密度の増加(R7:7.20m/ha→R11:7.21m/ha)
対象事業 別紙のとおり

農山漁村地域整備交付金に係る「ふくしま森林整備計画」の変更について

1 変更理由

県内の森林整備を促進するため、林道改良事業「林道渡実線」及び「林道横向線」の計画を新たに追加したい。

個別施設計画に基づいた橋梁点検・補修を行うため、林道点検診断・保全整備事業「林道板目沢線」、「西郷村一円」及び「川内村一円」の計画を新たに追加したい。

林道事業の実施状況を踏まえ、下記のとおり変更したい。

- ・林道改良事業「林道貝原線」、山のみち地域づくり交付金事業「林道北塩原・磐梯線」の事業費を増としたい。
- ・林道改良事業「林道大峠線」及び「林道鮫川線」の事業費及び事業量を変更したい。

2 変更内容

事業名 (事業型)	事業箇所名 (地区名)	変更内容			
		区分	変更前	変更後	変更理由
森林整備事業 (林道改良事業) (局部改良)	林道大峠線	事業費	61,700,000	149,070,000	現地精査による改良箇所の見直しに伴い工事数量及び工事費を増としたい。
		数量	局部改良 270m	局部改良 580m	
		工期	R7～R8	R7～R11	
森林整備事業 (林道改良事業) (のり面保全)	林道鮫川線	事業費	43,180,000	105,296,000	委託成果による改良範囲及び工法の見直しに伴い工事数量を減、工事費を増としたい。
		数量	のり面保全 50m	のり面保全 44m	
		工期	R7～R8	R7～R9	
森林整備事業 (林道改良事業) (局部改良)	林道貝原線	事業費	48,980,000	59,875,000	資材費の高騰等により、工事費を増としたい。
		数量	局部改良 37m	局部改良 37m	
		工期	R7～R8	R7～R8	
森林整備事業 (林道改良事業) (局部改良)	林道渡実線	事業費	—	72,860,000	箇所の追加
		数量	—	局部改良 50m	
		工期	—	R8～R9	
森林整備事業 (林道改良事業) (局部改良)	林道横向線	事業費	—	83,130,000	箇所の追加
		数量	—	局部改良 500m	
		工期	—	R8～R9	
森林整備事業 (林道点検診断・保全整備事業) (保全整備)	林道板目沢線	事業費	—	8,990,000	箇所の追加
		数量	—	保全整備 20m	
		工期	—	R8～R8	
森林整備事業 (林道点検診断・保全整備事業) (点検診断)	西郷村一円	事業費	—	6,260,000	箇所の追加
		数量	—	点検診断 4施設	
		工期	—	R8～R8	
森林整備事業 (林道点検診断・保全整備事業) (点検診断)	川内村一円	事業費	—	6,050,000	箇所の追加
		数量	—	点検診断 13施設	
		工期	—	R8～R8	
森林整備事業 (山のみち地域づくり交付金事業)	林道北塩原・磐梯線	事業費	660,648,000	858,000,000	委託成果による工法見直しに伴い工事費を増としたい。
		数量	道路工 2,687m	道路工 2,687m	
		工期	R7～R8	R7～R11	

3 整備計画の変更箇所

(1) 全体事業費

変更前： 2,269,085 千円

変更後： 2,804,108 千円

増 額： 535,023 千円

(2) 定量的指標

変更なし

民有林内林道密度の増加 (R7 : 7.20m/ha→R11 : 7.21m/ha)

※開設延長に変更がないため、変更なし。

農山漁村地域整備計画 変更理由書

整備計画の名称	ふくしま森林整備計画
---------	------------

○ 変更理由

(1) 対象事業の変更 ① 新規地区の追加 ② 継続地区の事業費の変更 ③ 継続地区の事業量の変更 (2) 全体事業費の変更 上記(1)の理由により、対象事業費を535,023千円の増とする。

○ 変更箇所 (単位：千円)

	旧事業名	新事業名	事業型	地区名	変更前			変更後			増減		備考 (変更理由)
					事業費	工期	事業量	事業費	工期	事業量	事業費	事業量	
(1) 関連事業の変更 (2) 全体事業費の変更	【対象事業】												
	森林整備事業		育成林整備事業(林道開設)	林道岩井沢榎ノ木平線	20,868	R7~R7	道路工 211m	20,868	R7~R7	道路工 211m	0	—	
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道大峠線	61,700	R7~R8	局部改良 270m	149,070	R7~R11	局部改良 580m	87,370	局部改良 310m	②③精査 現地精査による改良箇所の見直しに伴う増
	森林整備事業		林道改良事業(のり面保全)	林道鮫川線	43,180	R7~R8	のり面保全 50m	105,296	R7~R9	のり面保全 44m	62,116	のり面保全 △6m	②③精査 委託成果による改良範囲及び工法見直しに伴う変更
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道湯岐線	30,549	R7~R8	局部改良 225m	30,549	R7~R8	局部改良 225m	0	—	
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道具原線	48,980	R7~R8	局部改良 37m	59,875	R7~R8	局部改良 37m	10,895	—	②精査 資材費等の高騰に伴う増
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道館岩・檜枝岐線	98,870	R7~R11	落石防止 1,600m	98,870	R7~R11	落石防止 1,600m	0	—	
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道渡実線				72,860	R8~R9	局部改良 50m	72,860	局部改良 50m	①新規
	森林整備事業		林道改良事業(局部改良)	林道横向線				83,130	R8~R9	局部改良 500m	83,130	局部改良 500m	①新規
	森林整備事業		林道点検診断・保全整備事業	林道羽山線	8,990	R7~R7	保全整備 9m	8,990	R7~R7	保全整備 9m	0	—	
	森林整備事業		林道点検診断・保全整備事業	林道板目沢線				8,990	R8~R8	保全整備 20m	8,990	保全整備 20m	①新規
	森林整備事業		林道点検診断・保全整備事業	西郷村一円				6,260	R8~R8	点検診断 4施設	6,260	点検診断 4施設	①新規
	森林整備事業		林道点検診断・保全整備事業	川内村一円				6,050	R8~R8	点検診断 13施設	6,050	点検診断 13施設	①新規
	森林整備事業		山のみち地域づくり交付金事業(林道開設)	林道新鶴・柳津線	781,000	R7~R11	道路工 1,261m	781,000	R7~R11	道路工 1,261m	0	—	
	森林整備事業		山のみち地域づくり交付金事業(林道開設)	林道北塩原・磐梯線	660,648	R7~R8	道路工 2,687m	858,000	R7~R11	道路工 2,687m	197,352	—	②精査 委託成果による工法見直しに伴う増
	森林整備事業		山のみち地域づくり交付金事業(林道開設)	林道田島・館岩1線	514,300	R7~R11	道路工 1,415m	514,300	R7~R11	道路工 1,415m	0	—	
					2,269,085			2,804,108			535,023		

定量的指標	変更前	変更後
(3) 定量的指標の変更		
	民有林内林道密度の増加 (R7 : 7.20m/ha → R11 : 7.21m/ha)	変更なし

農山漁村地域整備計画に係る事前評価

計画の名称： ふくしま森林整備計画

計画策定主体： 福島県

計画の目標： 森林は、国土の保全、水源かん養、自然環境の保全や二酸化炭素吸収源などの多面的な機能を有しており、継続的な整備を要する。当県においては、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質拡散以後、森林整備が停滞する一方、放射性物質の拡散抑制に関する対策や知見の集積が進んでおり、森林林業の再生に向けた取組を進めている。
このため、林道等生産基盤整備により森林整備を促進し、森林の多面的機能の維持増進を図る。

定量的指標： 民有林内林道密度の増加(R7:7.20m/ha→R11:7.21m/ha)

評価項目	評価の視点	評価	判定
目標の妥当性	関連する計画との整合性が図られているか	○	阿武隈川地域森林計画書(R7-R16)では、「東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興として、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進すること、また、「適正な森林施業の実施や森林保全の確保を推進し、森林の有する多面的機能を発揮させる」ことが明記されており、森林整備を促進することは、本計画と合致する。
	地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	阿武隈川地域森林計画(R7-R16)では、「森林の持つ多面的機能への期待が高まって」おり、「持続可能な森林経営の一層の推進に努めることが課題となっている」ことが明記されており、地域の課題に対応している。
整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	森林の多面的公益的機能の維持増進には、適切な森林整備が不可欠であり、林道等基盤の整備は、効率的な森林整備実施に寄与するものであり、目標と定量的指標は整合する。
	事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事業実績から把握できる指標であり、計画完了後、適切に評価できる。
	構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	森林整備促進のためには、林道等生産基盤の整備が不可欠であり、林内林道密度は、事業の実施による効果を評価するための指標として適切である。
整備計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業主体は県及び市町村であり、円滑な事業執行の環境が整っている。
	地元の機運が醸成されているか	○	地元市町村及び森林所有者等からの要望であり、地元の機運は醸成されている。

【別添5】農山漁村地域整備計画 チェックシート

(計画名:

ふくしま森林整備計画

)

1 対象市町村	判断根拠	チェック欄	
		計画主体	農政局
対象市町村は対象事業の受益が記載されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の対象受益地である市町村名が正しく記載されている ・対象市町村数を右欄に記載してください 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(12)		/	
2 計画の期間	判断根拠	チェック欄	
概ね3～5年までの計画期間になっているか	・計画期間(交付期間)が概ね3～5年までで設定されており、対象事業の事業期間と合致している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 計画の目標	判断根拠	チェック欄	
関連する計画との整合性が図られているか	・都道府県等が作成する農業振興地域整備計画、地域森林計画、圏域総合水産基盤整備事業計画、海岸保全基本計画及び国土強靱化地域計画等の関連する計画と整合が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	/
達成できる目標となっているか	・目標は対象事業の実施により計画期間内に達成が見込まれるものとなっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域の課題に対する目標となっているか	・目標は地域の課題を十分に踏まえたものとなっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 定量的指標	判断根拠	チェック欄	
計画の目標との整合性がとれているか	・計画の目標の達成状況を客観的に判断できる指標となっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定量的な指標となっているか	・指標が定性的でなく、事業実施前後の状況が確認できる定量的なアウトカム指標となっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
計画期間内の事業量と整合が図られているか	・定量的指標値が整備計画期間内の事業量と整合が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事後評価が出来る適切な指標となっているか	・交付期間終了後又は交付期間終了年度中に成果目標の目標値の実現状況について事後評価を行うことが可能な指標となっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 対象事業	判断根拠	チェック欄	
交付対象事業及びその構成が適切なものとなっているか	・計画の目標及び評価指標の達成のために必要である交付対象事業の構成となっている(不要・不急の事業は含まれていない)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交付対象事業の事業内容が最新の事業計画書と整合が図られているか	・交付対象事業の事業内容(工期、総事業費等)は最新の事業計画書の内容となっている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効果促進事業は事業の趣旨・要件に合致しているか	・基幹事業と一体となってその効果を一層高める事業となっており、基幹事業の全体事業費に占める割合が20/100目途となっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業型毎に事業地区単位を基本に記載されているか	・都道府県単位や市町村単位又は事業型を東ね複数の事業地区が記載されていない(事業計画の作成等の都合上、東ねて整理せざるを得ない地区は除く)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業名及び事業型を特定できるよう記載されているか	・指定された事業名及び事業型が記載されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
費用対効果は記載されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の記載対象事業は、数値が記載されている ・費用対効果の記載対象外事業は、その理由が記載されている 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
該当なし			
6 その他	判断根拠	チェック欄	
提出書類は揃っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業を示した図面が添付されている ・事前評価に関する資料が添付されている 	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事前評価が実施され、その結果が公表されているか	・事前評価が実施され、公表「HP、縦覧、その他()」されている(または、公表予定である(令和8年3月))	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ チェック欄に計画主体、農政局それぞれでチェックを入れる